

「地域おこし協力隊」着任

那須町で地域おこしに関わりたい！
都会を離れて那須町で暮らしたい！

那須町に、新たに2人の「地域おこし協力隊」がやってきました。これから様々な活動を行っていきます。



左：平林 卓「健康で環境にやさしい街づくりを自転車で」
右：大瀧 剛「那須町と自転車がより身近になることを考えていきます」

▼「地域おこし協力隊」とは

都市部など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れて、新たな視点や発想力により、地域力の充実・強化に取り組み、任期終了後も当該地域への定住・定着を図るものです。

近年、町では、那須高原ロングライドや全日本選手権ロードレース大会の開催、「那須ブラーゼン」の活躍など、地域のサイクルスポーツの振興と観光誘客を図っています。

今回、自転車のまち「那須町」を推進しながら、町の魅力を全国に発信してくれる新たな2人の「地域おこし協力隊」を採用し、地域の維持・活性化を図ります。

▼協力隊員の紹介

○平林 卓(ひらばやし たく)

出身地 東京都

【協力隊に応募した理由】

那須町は妻の出身地ということもあり、たまたま訪れる機会がありました。茶臼岳を中心に那須連山の裾野に広がる那須高原の壮大さや、歴史ある芦野・伊王野地区ののどかな田園風景に心ひかれ、いつしか那須町への移住を考えるとよくなり、今回の地域おこし協力隊に募集しました。

自転車振興ということで、健康で環境にやさしい街づくりのお手

伝いできればと思っています。

○大瀧 剛(おたきつよし)

出身地 埼玉県さいたま市

【協力隊に応募した理由】

東日本大震災でのボランティア活動の経験が、自分の生き方を見つめなおす大きな転機となり、その延長上に地域おこし協力隊としての自分があるのだと思います。

那須町は両親が15年ほど前に別荘を建てたこともあり、とても愛着のある町でしたので、地域のために自分ができることをしたいと思つたとき、那須町を選択したことはとても自然なことです。

長年、パソコンのモニターとにらめっこしている様な仕事に携わってききましたので、過去のスキルを活かせると思う反面、なまってしまった身体を自転車で鍛えなおしたいと思えます。那須町がたどってきた過去の歴史を正確に把握し、これから町がどのような道を歩んでいくのか、地域の方々と一緒に考えていきたいです。

那須町には自転車を愛する方がたくさんいます。自分自身もひとりの自転車乗りとして、高原や里山の素晴らしいライド環境を発信していきたいと思えます。

▼問合せ

ふるさと定住課定住促進係 ☎0269555

日本経済の未来は、あなたの活躍から。

「国勢調査」から「経済センサス活動調査」へ！！

平成27年10月は「国勢調査」(人口・世帯の全数調査)

6月1日

平成28年6月は「経済センサス活動調査」(事業所・企業の全数調査)

経済センサス活動調査

キャンペーンサイトは「経済センサス2016」検索

政府統計 ■ 問合せ 企画財政課総合政策係 ☎72-6906